



## 公共下水道

# 新たに34ヶ所へ供用へ

去年四月から一部供用が始まった市の公共下水道は、四月一日から新たに、北神明町や幸町など三十四ヶ所が追加供用されます。これによって計百二十五ヶ所(対象人口五千六百四人)の地域でトイレの水洗化などができるようになります。

新たに供用が始まるのは、北神明町の全域と、宇赤館町、宇大館、幸町、宇桜町、宇桜町南、城西町、宇部垂町、御坂町、美園町の各一部です。

受益者の皆さんには受益者負担金の納付と排水設備工事の実施、下水道使用料の納付をしていただくこととなります。供用が始まった地域の皆さんには、排水設備工事を供用開始後三年以内に実施していただくことになっていきますが、快適な生活環境を早期に実現するためにも、速やかに行ってくださいようお願いします。

下水道に関するお問い合わせは下水道課(内線・356、340)へどうぞ。

### 受け付けています

#### 排水設備工事指定店

市では、排水設備工事指定店の指定申請を受け付けています。新たに指定を受けようとする事業所は、3月10日までに下水道課へ申請してください。

申請書類など詳しいことは同課管理係(内線・339)へお問い合わせください。

## 名称は「あやめ苑」

### 釈迦内鉦山クラブの移転復元工事終わる



復元工事が終わった「あやめ苑」

釈迦内公民館の敷地内で進められていた「釈迦内鉦山クラブ」の移転復元工事が終わりました。建物の名称は「あやめ苑」。近く一般開放の予定です。

#### 秋田杉を使い

#### 純和風の造り

この建物は、昭和十四年、木材会社の経営者が住居として建てました。天然秋田杉を使ったぜいたくなものです。四十年代に日本鉦業が買い取り、釈迦内鉦山の施設として使ってきました。しかし、敷地が大館西道路のルートに当たっていたことから、平成三年に、「市のためにぜひ使ってほしい」と同鉦山が市に寄贈しました。

復元された建物は、木造平屋建て二百九平方メートル。一・五畳をはじめとする和室が五室。展示室、洋室などがあります。特徴は、純和風を基本にしていること。建物全体は天然秋田杉を生かした、法隆寺金堂などと同じ入母屋造り(いりもやぶくり)です。玄関の天井は、神社などにみられる「支輪(しりん)」。造りになっています。また、数奇屋造りの水屋(みずや・茶器を洗う所)もあります。

名称の「あやめ苑」は、釈迦内地区にある国の天然記念物・芝谷地湿原植物群落をイメージして付けられました。

今年三月には、竣工祝賀会が開かれます。四月にオープンの予定です。